

千葉大学教育学部附属教員養成開発センター

センターの概要

教員養成開発センター（平成25年4月旧教育実践総合センターを発展的に改組）は、教員養成ならびに教員研修に関わる研究・教育、事業を行うことを目的としている。

- (1)現職教員研修に関する事業
- (2)教育研究グローバル化推進に関する事業
- (3)ICT教育研究に関する事業
- (4)地域教育貢献に関する事業
- (5)全学教職支援に関する事業
- (6)産官学連携教育推進に関する事業
- (7)その他

の7つの内容を中心に、プロジェクトを立ち上げ、学部教員や関係機関と連携しながら活動を進めている。

併せて、千葉大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）の運営も担っている。

住 所 〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33

Tel/Fax 043-290-2696

URL https://www.education.chiba-u.jp/f_Top/center

構成員：（令和5年1月現在）

センター長（専任）	教 授	土田雄一
副センター長（専任）	教 授	笠井孝久
副センター長（兼任）	教 授	加藤徹也
専任教員	教 授	大野英彦
	教 授	伊藤裕志
	准教授	磯邊 聡
	准教授	國吉浩二
	准教授	土屋明子
	准教授	森 美香
	特任准教授	重 歩美
客員教授		野口敏樹
		植草伸之
事務補佐員		鈴木由里子
		石松京子
		野口磨美

年間活動状況(令和4年度)

(1) 現職教員研修に関する事業

◎長期研修生(委託研究生)への支援

- ・委託研究生の研究支援の一環として講義「教育研究方法論(必修)」[90分×15回(研究発表会を含む)]を開設
内容/知っておきたい教育法規(大野), 人間関係作りの教材開発(土田), アクションリサーチの実際(土田), 学校教育の課題と展望(伊藤), 千葉県教職員研修体系に鑑みた長期研修への取組(土屋), 研究における倫理について(磯邊), 学校というフィールドとデータの扱い方(笠井), 研究から学ぶ(笠井), 教育技術の構造(國吉), 教員のキャリア・ステージと研修(森)
- ・委託研究生の支援活動の一環として教育臨床研修生向けに「教育臨床プログラム」を提供
内容/課題研究(笠井), 学校臨床心理学(笠井), 教育相談事例研究(笠井), 臨床心理学概論(磯邊), 高度教育実践研究(大野, 土屋), 子供の抱える困難の理解と支援(土田, 國吉, 森), 教育相談実習(水・木・金:笠井)
- ・委託研究生研究発表会(R4.7/7, R5.2/3)
委託研究生個々の教育研究の成果を発表し共有する。
- ・委託研究生を対象とした授業
高度教育実践研究(大野, 土屋), 実践から学ぶ教職論(土屋, 大野, 伊藤, 國吉, 森), 実践に活かす教職論(國吉, 大野, 伊藤, 土屋, 森), 学校教育実践研究Ⅰ(大野, 伊藤, 土屋, 國吉, 森), 学校教育実践研究Ⅱ(大野, 伊藤, 土屋, 國吉, 森)
- ・令和5年度委託研究生向け説明会(R5.1/26)

◎免許法認定講習の実施運営

- ・千葉県教育委員会に協力して以下の3講習(会場は千葉大学)をセンターが担当した。
生徒・進路指導論(笠井, 國吉), 教育相談の理論と方法(笠井, 磯邊, 重, 富樫), 道德教育の理論と方法(土田)

◎「令和4年度NITS・教職大学院等コラボ研修プログラム支援事業」の実施運営(土田, 貞廣, 笠井, 大野, 伊藤, 磯邊, 國吉, 土屋, 森)

- ・ミドルリーダー養成研修
「行政のリーダー教育長に学ぶ」
松本文化(船橋市教育長), 丸智彦(我孫子市教育長), 赤羽良明(いすみ市教育長)
鈴木希彦(鴨川市教育長), 府川雅司(四街道市教育長), 樋口雅也(千葉市教育委員会教育指導課長), 石川康浩(千葉県教育庁学習指導課長)
- ・千葉大学教職大学院シンポジウム
「『新たな教師の学びの姿』の実現に向けて~教員研修の在り方を考える~」
基調講演 富塚昌子(千葉県教育委員会教育長)
- ・千葉大学教職大学院公開講座
「教育の最新事情 ~現代的教育課題への具体的取組~」
天笠茂(千葉大学名誉教授), 保坂亨(千葉大学名誉教授), 土田雄一, 貞廣斎子, 笠井孝久, 大野英彦, 小林聡子, 磯邊聡, 丹間康仁, 西口雄基, 八木澤史子

(2) 教育研究グローバル化推進に関する事業

◎ツイン型学生派遣（ツインクル）プログラムの開発と実施（加藤，土田）

平成24年度に，グローバルな環境で教員養成を行うプログラムとしてツインクルプログラムを開発した。本プログラムは教育の学生と理系の学生が組み，科学をベースとした教材・授業開発を行い，ASEAN諸国の学校において教員体験をするインターンシッププログラムである。

このプログラムでの体験は，学生にグローバルな視点を持たせるだけではなく，様々なバックグラウンドを持つ子供たちへの教育的対応能力を身に着けるのに役立っている。すなわちグローバル化が進む教育現場で即戦力として活躍する素地を身に着けさせるものである。すでに派遣・受入れ交流総数は学生交流のみでも1,000名を超え，ASEAN諸国の小中高校での実施授業総数は約500講義，受講したASEAN児童・生徒のべ人数は20,000人を超えている。

この経験を活かし，グローバル教員インターンシップ実施マニュアルを作成した。また，ASEAN 7か国，15大学および33校の小中高校を含めた文理融合教育体制を構築した。

コロナ禍によって，中断を余儀なくされていたが，令和5年2月にフィリピン道徳授業プログラムを，3月からツインクルプログラムを再開予定である。

(3) ICT教育研究に関する事業

◎附属小学校において，ネットの誹謗中傷に関するアプリ教材を活用した授業を実施（藤川）

◎千葉市教育センターのデジタル・シティズンシップ教育に関する研究に協力（藤川）

(4) 地域教育貢献に関する事業

◎県教委及び高校との協定に基づく高大連携「教育基礎講座」の企画運営（國吉，笠井，土屋）

- ・千葉女子高校，安房高校，我孫子高校，君津高校の「教員基礎コース」の生徒向けに「教育基礎講座」（千葉女子は90分×7回，安房は90分×6回，我孫子は90分×1回，君津は90分×3回）を開設，その企画運営を担当（國吉，土屋，大野，土田，笠井）
（授業担当 保坂，土田，大野，伊藤，笠井，磯邊，國吉，土屋，森）
- ・「教員基礎コース」等交流学习会の実施〔11/27〕（大野，伊藤，笠井，磯邊，國吉，土屋，森）
- ・成東高校特設科目「教育基礎」（90分×2回）（授業担当 伊藤，土屋）

◎県教委及び高校との協定に基づく高大連携「基礎教養講座」の企画運営（國吉，土屋，大野）

- ・千葉東高校，木更津高校の生徒向けに，おもに当該高校を会場にした90分×14回の講義の運営

◎県教委との協定に基づく県内遠隔地公開講座の企画運営（國吉，大野，土田，土屋）

- ・長生高校を会場に公開講座（90分授業2コマ）を実施，その企画・実務を担当（國吉）

(5) 全学教職支援に関する事業

◎教育学部以外の教員免許状取得を目指す学生への支援を行っている。

主担当授業は，「現代教職論」（1年後期必修），「生徒指導・教育相談・進路指導」（2－4年必修），「教職実践演習」（4年後期必修）である。（植草，富樫，佐瀬，菱木，重）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により昨年度までオンライン授業も併用して行っていたが，今年度はほぼ対面での授業が可能となったため，同教職授業を修得し他学部へ進学したTA院生にサポートしてもらいながら対面での講義を行なうことができた。特に「生徒指導・教育相談・進

路指導Ⅱ」では、他の学生やTA院生との交流を増やしたことで教育現場について考えを深められた、という感想を多く得られている。また、教育現場から現職の教員にゲストティーチャーとして講師を務めてもらった際には、学生たちから大変好評だったため、3回の講義をお願いすることができた。

「教職実践演習」は例年4名の教員で分担し、グループ演習を行っている。15回の講義のうち4回以上現職の教員を招き、学生と交流してもらっている。今年度は、外国籍を持つ生徒への関わりについて国際教養学部の先生に来ていただいた回や一度企業に勤めた後に教員になった若手教員との交流が特に、学生たちにとって大きな経験となっている。なお、園芸学部の学生は通学に時間と交通費を要することから、必修科目である教職実践演習については別途、西千葉校舎での授業内容を反映させながら園芸学部で授業を開講した。

そのほか、教育実習に出る前に、指導案の書き方、模擬授業等を中心に「教育実習直前サポート講座」、教員採用試験を受験する学生を対象に「教員採用試験事前学習会」を開催。自己PRや志望動機の書き方をはじめ、面接練習など、学生の希望に沿った内容を行い、その後、二次試験に向けて小論文や面接、模擬授業への対応を指導した。また、本年度は千葉県教育庁教職員課の方に来ていただき、他学部学生向け出前講座「先生っていいもんだ」を開講した。(富樫, 重)

(6) 産官学連携教育推進に関する事業

◎千葉市, JFEスチール等と連携し、小学生向け起業家教育プログラム「西千葉子ども起業塾」をオンライン及び対面で実施(藤川)

※以下の事業については、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

◎京葉臨海コンビナート人材育成講座「チームリーダー養成講座」を千葉県産業振興センターの委嘱を受け、計画・実施・運営をしている。対象は、京葉臨海コンビナート関連企業の中堅社員であり、年間4回の講座は、受講者評価も高い。委嘱を受けている事業の概要は以下のとおりである。(土田, 土屋, 國吉)

①事業の目的 チームリーダーの養成

②事業の概要

チームの活力を高め、維持していくことができるチーム運営に長けたリーダーを育成するために、PBL(Project Based Learning)を援用した実践的なグループワークを通して、問題解決に必要な知識やスキルを身に着ける。

③実施の内容 理論・演習・事例報告会の3部構成、全12コマの計画・実施・評価

④実施の時期 A4講座① 令和4年9月14日～16日

A4講座② 令和4年9月21日～23日

A4講座③ 令和5年2月8日～10日

A4講座④ 令和5年2月13日～15日

(7) その他

◎教員養成・研修に係る実務担当者ワーキンググループ

・千葉県教育庁、千葉市教育委員会の関係機関・部署と教員の養成、採用、研修に関わる事項について協議を行う。

実施日 R4.5/19,7/14,9/8,11/10,R5.1/19,3/16

(参加者: 敬愛大学教授, 千葉県教育庁教育振興部教職員課, 同学習指導課, 千葉県総合教育センター研修企画部, 千葉県子どもと親のサポートセンター支援事業部, 同教育相談部, 千葉市教育委員会学校教育部教育改革推進課, 千葉市教育センター, 千葉大学教員)

◎千葉大学教育学部附属教員養成開発センター運営協議会 (R5.2/1)

◎教育相談, 学習方法に関する学校支援

- ・教育相談活動, 教育相談学校関係者へのコンサルテーション, 教育相談関係者へのスーパーヴィジョンの実施 (笠井, 磯邊)

◎附属学校園サポートチームとして, 附属学校園の教職員にコンサルテーションを行う (笠井, 磯邊)

◎学部, 大学院での授業 (略)

(参 考) 外部資金導入状況

a) 科研費 (基盤研究C)

- ・適応上の問題を抱える生徒に対する援助的な視点に基づいた『教育臨床的進路指導』(磯邊)
700,000円

b) 科研費 (基盤研究C)

- ・教員を志望する高校生へのキャリア支援; 学部教員養成以前の教職カリキュラムを考える (笠井, 土田, 大野, 伊藤, 土屋, 國吉, 森, 梅田)
1,500,000円

c) 令和4年度NITS・教職大学院等コラボ研修プログラム支援事業

- ・ミドルリーダー養成研修 (土田, 貞廣, 笠井, 大野, 伊藤, 磯邊, 國吉, 土屋, 森)
300,000円
- ・千葉大学教職大学院シンポジウム (土田, 貞廣, 笠井, 大野, 伊藤, 磯邊, 國吉, 土屋, 森)
300,000円
- ・千葉大学教職大学院公開講座 (土田, 貞廣, 笠井, 大野, 伊藤, 磯邊, 國吉, 土屋, 森)
300,000円

d) 公益財団法人千葉県産業振興センター受託研究

- ・京葉臨海コンビナート人材育成講座「チームリーダー養成講座」(土田, 國吉, 土屋) 0円
(事業中止)

e) 千葉大学教育学部・附属学校連携研究

- ・ICTを活用した問題解決的な道徳授業と振り返りの在り方について (土田, 市川, 藤川, 森, 附属中教員 他)
15,000円
- ・異文化間移動を経験した児童の道徳授業における意識の変容 (土井, 土田)
30,000円
- ・附属中学校における教育相談体制の充実(6) (磯邊 他)
15,000円
- ・様々な理由で教室にいられない児童に対する「自学室」を活用したサポート2 (笠井)
15,000円

研究活動状況

磯邊 聡 (臨床心理学)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
C1	磯邊 聡	単著	援助者ところの傷つき-『治療的傷つきやすさ』をめぐって-	千葉大学教育実践研究、vol26、印刷中	2023.3
F1	磯邊 聡 (ほか10名)	共著	附属中学校における教育相談体制の充実 (5) -コロナ禍における教育相談体制をめぐって-	令和3年度千葉大学教育学部-附属学校園連携研究成果報告書、pp15-16	2022.9.1

社会的活動

L1	千葉市スクールカウンセラー				2005.4～継続中
L2	千葉市教育委員会生徒指導調査研究委員会 委員長				2005.4～継続中
L3	非営利特定団体 生と死を考える会 スーパーバイザー				2005.6～継続中
L4	千葉市教育センター研究事業 通年講師				2006.4～継続中
L5	公益社団法人 千葉犯罪被害者支援センター 理事				2010.6～継続中
L6	千葉市子ども・若者支援協議会代表者会議 委員				2012.4～継続中
L7	千葉県警察 カウンセリング業務スーパーバイザー				2012.10～継続中
L8	千葉県子どもと親のサポートセンター支援事業部調査研究 通年講師				2012.11～継続中
L9	千葉市青少年問題協議会 会長				2014.9～2022.8.31
L10	一般社団法人 千葉県公認心理師協会 代議員				2015.5～継続中
L11	市原市いじめ問題再調査委員会 副委員長				2016.2～継続中
L12	一般社団法人 千葉県公認心理師協会 会長				2019.5～継続中
L13	千葉少年鑑別所 地域援助スーパーバイザー				2019.8～継続中
L14	一般社団法人 日本心理臨床学会 代議員				2021.5～継続中

伊藤 裕志 (学校経営、教育実践)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
C1	土屋明子 伊藤裕志 森美香	共著	校内研修コンサルタントの活用による継続的・自律的な校内研修運営のための支援～オーダーメイド型校内研修支援プログラムの作成と試行～	千葉大学教育実践研究第26号	2023.3
C2	松村順 藤枝尚子 伊藤裕志 他	共著	教職員の資質能力の向上と学びのマネジメント力の育成～育成指標の意識改革の視点から～	千葉市教育センター研究紀要第31号	2023.3

社会的活動

L1	スペシャルオリンピックス日本・千葉 会長				2020.4～現在
L2	千葉市男女共同参画苦情処理委員				2021.4.1～現在
L3	千葉市教育センター研究「教職員の資質能力の向上と学びのマネジメント力を育成するために」講師				2022.6～現在
L4	ちばっ子学びの未来デザインシート事業業務委託に係る検討会 委員				2022.6.29
L5	千葉市教育研究会理科教育部会講演会 講師				2022.8.24
L6	高大連携授業（千葉県立成東高等学校）講師				2022.9.9
L7	高大連携授業（千葉県立千葉女子高等学校）講師				2022.9.17
L8	高大連携授業（千葉県立君津高等学校）講師				2022.10.25
L9	千葉県教育研究会理科教育部会研究発表大会千葉大会 顧問				2022.12.～現在
L10	千葉県介護の未来案内人事業受託候補者選考会議 委員				2023.3.

大野 英彦 (学校経営)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
C1	平賀洋一・大野英彦	共著	「コロナ禍」における学校運営と関係機関との連携－高等学校現場で直面する危機管理のためのリーダーの在り方－	千葉大学教育実践研究第26号	2023.3

社会的活動

L1	令和4年度千葉県・千葉市教員等育成協議会委員				2022.10～現在
L2	千葉県教育委員会 指導が不適切である教諭等の認定の手続等に関する有識者会議委員				2020.5.～現在
L3	千葉県教育委員会 千葉県教育委員会が行う事務の管理及び執行状況の自己点検・評価実施に係る点検評価委員				2022.7～現在
L4	船橋市教育委員会 船橋市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価にかかる協力者				2021.6～現在
L5	船橋市教育委員会 船橋市立宮本中学校学校運営協議会委員（副会長）				2022.4～現在
L6	A高等学校いじめ対策委員会第三者委員				2022.8～現在
L7	B高等学校いじめ対策委員会第三者委員				2022.10～現在
L8	C高等学校いじめ対策委員会第三者委員				2022.12～現在
L9	千葉県総合教育センター 新任校長研修講師				2022.6.10
L10	高大連携授業（千葉県立君津高等学校教育基礎講座）講師				2022.10.21
L11	高大連携授業（千葉県立安房高等学校教育基礎講座）講師				2022.9.3

笠井 孝久（教育相談、臨床心理学）

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
C1	笠井 孝久	単著	教員基礎コースに対する高校生の認識	千葉大学教育実践研究第24号 pp.	2022.3
C2	笠井 孝久	共著	「教員を目指す高校生へのキャリア支援」研究報告書	科学研究費報告書	2022.3

社会的活動

L1	千葉県子どもと親のサポートセンター	参与			2019.10～
L2	千葉市スクールカウンセラー				2022.4～
L2	高大連携で前授業（千葉県県立千葉女子高等学校）				2022.4.16
L3	高大連携出前授業（千葉県立安房高等学校）				2022.4.23
L4	千葉県子どもと親のサポートセンター	教育相談コーディネーター養成研修	講師		2022.5～
L5	四街道市いじめ対策協議会	委員			2022.7.7
L6	四街道市教員研修	講師			2022.8.3
L7	千葉県免許法認定講習（生徒・進路指導論）	講師（千葉大学）			2022.8.8
L8	船橋市教員研修	講師			2022.8.23
L9	千葉県免許法認定講習（教育相談の理論と実際）	講師（千葉大学）			2022.8.25
L9	千葉大学公開講座	講師			2022.8.27
L10	白井市いじめ対策協議会	委員			2022.9.21
L11	千葉県子どもと親のサポートセンター	教育相談上級研修	講師		2022.10.6
L12	千葉県子どもと親のサポートセンター	教育相談上級研修	講師		2022.10.7
L13	千葉県子どもと親のサポートセンター	教育相談コーディネーター養成研修	講師		2022.10.11
L13	千葉県立高校	第三者委員会	委員		2023.1.17
L14	四街道市いじめ対策協議会	委員			2023.2.16
L15	千葉県立高校	第三者委員会	委員		2023.3

國吉 浩二（生徒指導）

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
F1	教員養成開発センター	共著	令和4年度県立千葉女子高校・安房高校・我孫子高校・君津高校・成東高校「教員基礎コース等」交流学習会報告書	教員養成開発センター	2022.3

社会的活動

L1	旭市いじめ問題対策連絡協議委員会	委員長			2022.5.25～現在
L2	千葉市いじめ問題対策調査委員会	副委員長			2022.6.4～現在
L3	高大連携授業「教員基礎講座」	講師：県立安房高等学校			2022.6.11
L4	高大連携授業「教員基礎講座」	講師：県立千葉女子高等学校			2022.5.14
L5	高大連携授業「地域公開講座」	講師：県立長生高等学校			2022.8.25
L6	教員免許法認定講習（生徒指導・進路指導論）	講師：千葉学会場			2022.8.8
L7	教員免許法認定講習（生徒指導・進路指導論）	講師：千葉学会場			2022.8.9
L8	市川市立第四中学校校内研修講師				2022.8.24
L9	市川市立第四中学校校内研修講師				2022.11.11

貞広 齋子 (教育行財政)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
B1	貞広齋子	単著	教師も管理職も自分で「決められる」学校を	『教職研修』（教育開発研究所）(596)	2022.4.1
B2	貞広齋子	単著	「『令和の日本型教育』を担う新たな教師の姿」を実現するための取り組みについて－管理ではなく、学びの保障にできるか－	『千葉教育』 葉号	2023.2.2
E1	貞広齋子	単著	教育資源をめぐる動態と社会的公正に資するシステム設計に関する研究	博士論文 (博士（教育学）)	2023.3.15
H1	貞広齋子	単著	社会経済的背景に配慮した教育資源配分システムの可能性・限界・多様性（招待有）	北欧教育学会	2022.5.21
H2	貞広齋子	単著	教師・学校管理職の在り方を巡る政策論議と今後の方向性－中教審での議論を中心に－（招待有）	日本教師教育学会シンポジウム	2022.9.17

社会的活動

L1	文部科学省 中央教育審議会 委員	2021.3.9～2023.3.8
L2	文部科学省 中央教育審議会 初等中等教育部会委員	2021.4.27～2025.4.26
L3	文部科学省 中央教育審議会 教育課程部会 副部会長	2021.6～2023.6
L4	文部科学省 中央教育審議会 教員養成部会 委員	2021.6～2023.6
L5	文部科学省 中央教育審議会 「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会	2021.3.9～2023.3.8
L6	文部科学省 中央教育審議会 「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会 教員免許更新制小委員会 委員	2021.4.30～2023.4.29
L7	文部科学省 中央教育審議会 「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会 基本問題小委員会	2022.1～2024.1
L8	文部科学省 政策評価に関する有識者会議委員	2013.2～現在
L9	文部科学省 全国学力・学習状況調査の個票データ等の貸与に関する有識者会議委員	2018.4～現在
L10	文部科学省 教育研究開発企画評価会議協力者	2019.11.1～現在
L11	文部科学省 教育政策に関する実証調査研究事業審査委員	2018.2～現在
L12	文部科学省 COREハイスクール・ネットワーク構想企画評価会議委員	2021.1～現在
L13	文部科学省 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学校教育の在り方に関する特別部会 委員	2022.2.7～現在
L14	文部科学省 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学校教育の在り方に関する特別部会 義務教育WG 委員	2022.10.17～現在
L15	文部科学省 今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会 委員	2022.12.22～現在
L16	文部科学省 質の高い教師の確保のための教職の魅力向上に向けた環境の在り方等に関する調査研究会 座長	2022.12.20～現在
L17	国立教育政策研究所評議員会評議員	2019.2.1～現在
L18	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所運営委員	2019.10.1～現在
L19	千葉県教員委員	2019.7.9～2022.12.26
L20	千葉県青少年問題協議会 会長	2017.2～現在
L21	千葉県 私学審議会 会長代理	2016.5～現在
L22	千葉市学校教育審議会 会長	2018.7.1～2023.5.31
L23	千葉市新基本計画審議会 委員	2021.10.1～2023.3.31
L24	日本教育経営学会常任理事・紀要編集委員長	2021.6～2024.6
L25	日本教育制度学会常任理事	2020.11～2023.11
L26	日本教育政策学会常任理事	2014.7～現在
L27	日本教育行政学会理事	2019.10～2025.10

丹間 康仁 (地域教育経営、生涯学習・社会教育学)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
A1	荻野亮吾 丹間康仁	共編	地域教育経営論 —学び続けられる地域社会のデザイン—	大学教育出版	2022.10
C1	池谷美衣子 丹間康仁	共著	パンデミック下における地区公民館の対応と課題 —神奈川県平塚市を対象にした全館調査より—	『茗 溪 社 会 教 育 研 究』 第13号、pp.16-34	2022.6
D1	丹間康仁	単著	書評：荻野亮吾著『地域社会の つくり方—社会関係資本の醸成 に向けた教育学からのアプローチ—』(勁草書房 2022年1月)	『日本学習社会学会年報』 第18号、pp.105-106	2022.9
H1	丹間康仁 岡幸江 池谷美衣子 大蔵真由美 竹井沙織 大村隆史 内田光俊 森村圭介 荻野亮吾	共同	コロナ禍における公民館の運営 をめぐる状況 —政令市・中核市等全国10市で の共同悉皆調査の展開—	日本公民館学会 2022年度 7月集会	2022.7.16
H2	池谷美衣子 内田光俊 荻野亮吾 岡幸江 丹間康仁 森村圭介	共同	ポストコロナ社会に向けた公民 館研究の展望	日本公民館学会 第21回研 究大会	2022.12.4
II	Yasuhito TAMMA	単独	The Role of Non-formal Educational Institutions in School Districts: Community Learning Centers' Approaches Under the COVID-19 Pandemic	World Education Research Association 2022 Focal Meeting	2022.4.25

社会的活動

L1	千葉県教育委員会 参与				2022.5～
L2	千葉市社会教育委員				2022.1～
L3	船橋市社会教育委員				2022.4～
L4	習志野市社会教育委員				2022.6～
L5	日本社会教育学会ジャーナル編集委員会 委員				2021.11～
L6	日本公民館学会年報編集委員会 副委員長				2018.12～2022.12
L7	日本公民館学会年報編集委員会 委員長				2022.12～

土田 雄一 (道徳・教育相談)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
A1	土田雄一 諸富祥彦	共編著	考えるツール&議論するツール & ICTでつくる小学校道徳の 新授業プラン	明治図書 (総ページ数125). pp14-20.pp22-39	2022.1
D1	土田雄一	単著	解説 エクササイズの生かし方	明治図書、「道徳教育」 2022年12月号、No774、 pp44-47	2022.12
D2	土田雄一	単著	指導と評価の一体化を見つめ直 して	光文書院、「T-Navi Edu」 vol.09、2022 2月、p15	2022.2
D3	土田雄一 片岡洋子 瀬戸山博子	共著	学校教育におけるジェンダー視 点の重要性	光文書院、「T-Navi Edu」 vol.13、2022 11月、pp16-17	2022.11
C1	小林聡子 相良好美 土田雄一	共著	外国人児童生徒教育をめぐる基 礎情報の浸透度合い 教員と教職課程受講生へのアン ケート調査を事例に	千葉大学教育実践研究 第26号 pp31-44	2023.3

C2	松井聡 土田雄一	共著	国際交流体験を生かす取組	千葉大学教育実践研究 第26号 pp75-85	2023.3
C3	森美香 土屋明子 土田雄一	共著	実務家教員による特別活動に関する授業実践の効果－教職大学院・教育学部における授業実践を通して－	千葉大学教育実践研究 第26号 pp87-99	2023.3
C4	森重比奈 野村純 土田雄一 加藤徹也	共著	理科教員・養護教諭志望学生を対象とした合同ロールプレイ演習教材の開発と実践（Ⅰ）～開発報告～	千葉大学教育学部研究紀要 第71巻（2023）印刷中	2023.3
C5	森重比奈 野村純 土田雄一 加藤徹也	共著	理科教員・養護教諭志望学生を対象とした合同ロールプレイ演習教材の開発と実践（Ⅱ）～実践報告～	千葉大学教育学部研究紀要 第71巻（2023）印刷中	2023.3
C6	土田雄一 藤川大祐 市川秀之 阿部学 松田憲子 高橋晶 前園健治 車塚佑太	共著	問題解決的な道徳授業と評価の在り方についてⅣ	令和3年度千葉大学教育学部・附属学校連携研究報告書	2022.6
H1	松田憲子 土田雄一	共同発表	多文化共生社会実現に向けた道徳授業の構築を目指してⅡ－韓国道徳教科書を基にした教材開発と実践－	日本道徳教育学会令和4年度第99回大会（東京家政大学）	2022.6.26

社会的活動

L1	NHK 学校放送番組「ココロ部！」番組委員	2015.12～継続中
L2	NHK 学校放送番組「時々迷々」番組委員	2006.4～継続中
L3	NHK 学校放送番組「SEED なやみのタネ」番組委員	2021.4～継続中
L4	日本生徒指導学会 監事	2009～継続中
L5	千葉県道徳教育用教材作成委員会（講師）	2013～継続中
L6	いちほらっこの子育て支援会議委員	2016.9～継続中
L7	君津市いじめ調査委員会委員	2018.4.1～継続中
L8	富津市いじめ調査委員会委員	2018.4.1～継続中
L9	茂原市いじめ調査委員会委員	2022.4.1～継続中
L10	日本道徳教育学会 評議員	2019.5～継続中
L11	千葉県総合教員センター長期研修生研修会（講師）「教育研究の進め方」（千葉県総合教育センター）	2022.4.13
L12	習志野市立香澄小学校校内研修会（道徳）（講師）（香澄小学校）	2022.5.18
L13	船橋市総合教員センター夏季研修会（講師）「家庭との信頼関係を築く」（船橋市総合教育センター）	2022.7.27
L14	富山県小学校教育課程夏季研修会（道徳科部会）（講師）（富山県総合運動公園陸上競技場）	2022.7.29
L15	富津市教員センター夏季研修会（講師）「道徳授業の改善と評価」（富津市役所）	2022.8.1
L16	千葉県教育委員会認定講習（道徳の指導法）（講師）（千葉大学）	2022.8.17～8.18
L17	多古町教職員研修会（講師）「特別の教科道徳の指導と評価について」（多古町公民館）	2022.8.23
L18	三浦市立上宮田小学校校内研究会（道徳）（講師）（上宮田小学校）	2022.8.26
L19	令和4年度千葉大学教職大学院公開講座「教育の最新事情」（講師）「学校の国際化の現状と課題」（千葉大学）	2022.8.27
L20	茅ヶ崎市立北陽中学校校内研修会（道徳）（講師）（北陽中学校）	2022.9.30
L21	いちほら市民大学専門講座「子育て支援コース」（講師）「地域における子育て支援」（サンプラザ市原）	2022.10.5
L22	浦安市立明海中学校校内研修会（道徳）（講師）（明海中学校）	2022.10.14
L23	旭市立干潟小学校校内研究会（道徳）（講師）（干潟小学校）	2022.11.18
L24	八千代市立みどりが丘小学校公開研究会（道徳）（講師）（みどりが丘小学校）	2022.11.25
L25	八千代市立村上北小学校公開研究会（道徳）（講師）（村上北小学校）	2022.11.29
L26	草加市立栄中学校校内研修会（道徳）（講師）（草加中学校）	2022.12.14
L27	草加市小中道徳教育推進教師研修会（講師）（草加市中央図書館）	2023.1.18

土屋 明子 (学習指導・学級経営)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
C2	土屋明子 伊藤裕志 森美香	共編集	校内研修コンサルタントの活用による継続的・自律的な校内研修運営のための支援 —オーダーメイド型校内研修支援プログラムの作成と試行—	千葉大学教育実践研究第26号 印刷中	2023.3
C2	森美香 土田雄一 土屋明子	共編集	実務家教員による特別活動に関する授業実践の省察 —教職大学院・教育学部における授業実践を通して—	千葉大学教育実践研究第26号 印刷中	2023.3

社会的活動

L1	高大連携授業 (県立千葉女子高等学校・木更津高等学校教育基礎講座) 講師：千葉大学	2022.4.9
L2	高大連携授業 (県立成東高等学校教育基礎コース) 講師：県立成東高等学校	2022.5.6
L3	高大連携授業 (県立千葉女子高等学校教育基礎講座) 講師：県立千葉女子高等学校	2022.5.14
L4	高大連携授業 (県立安房高等学校教育基礎講座) 講師：県立安房高等学校	2022.6.11
L5	東金市立福岡小学校校内研修会 (算数科) 講師：東金市立福岡小学校	2022.5.11, 10.13, 11.26, 2023.1.26
L6	山武教育研究会教育課程検討委員会 講師：山武教育会館	2023.1.17
L7	長生村教育研究協議会全体研修会 講師：長生村立長生中学校	2023.2.2

西口 雄基 (教育心理学・認知臨床心理学)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
B1	篠原千春 西口雄基 石垣琢磨	共著	公正感受性とバッシング許容度の関連—怒り感情を媒介したモデルの検討 (査読有)	パーソナリティ研究第31巻、第1号、pp. 65-68	2022.4
B2	Yuki Nishiguchi, Ryotaro Ishikawa, Takuma Ishigaki & Kazuyuki Hashimoto	共著	Less Maladaptiveness of the Maladaptive Coping Styles in Japan than in Germany: Cross-cultural Comparison of Adaptive and Maladaptive Coping Styles (査読有)	International Journal of Cognitive Therapy volume 15, pp. 452-464	2022.9
B3	西口雄基 萩原健斗 大江朋子	共著	決定論的信念による死連想傾向の促進—若年層の死に関する思考の高まりの早期発見に向けて— (査読有)	グローバルビジネスジャーナル第8巻、第3号、pp. 21-29	2022.9
H1	西口雄基 丸山友理子 前田基成	共著	美術教育における制作課題が自己イメージに与える影響	日本パーソナリティ心理学会第31回大会 (沖縄県市町村自治会館)	2022.12.4
K1	Scott H. Waltman・R. Trent Codd III・Lynn M. McFarr・Bret A. Moore 原著。毛利伊吹監修/翻訳。森本幸子・石川亮太郎・西口雄基翻訳	共著	こころの支援に携わる人のためのソクラテス式質問法: 認知行動療法の考え方・進め方を学ぶ	金子書房	2022.11

社会的活動

L1	日本心理学会 会員	2011年4月～現在
L2	日本パーソナリティ心理学会 会員	2011年4月～現在
L3	日本教育心理学会 会員	2017年4月～現在
L4	日本社会心理学会	2017年8月～現在
L5	日本教科教育学会 会員	2020年5月～現在
L6	日本パーソナリティ心理学会 広報委員会副委員長	2021年4月～現在

三宅 健次 (教育工学)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
C1	三宅健次 安藤和弥 川名隆行 吉本一紀 石田剛志 山崎達也 小泉岳央	共著	1人1台端末時代に求められる情報モラル指導法の検討Ⅱ～デジタル・シティズンシップの視点から～	千葉大学教育学部附属中学校研究紀要、第53集、pp1-9	2023.3.1
K1	三宅健次 高橋暁子	共著	GIGAスクール時代の情報教育	光村図書出版、「道徳科通信」、No.3、pp1-4	2022.6.10
K2	三宅健次 藤村裕一 石原一彦 和田俊雄	-	GIGAスクール1人1台の情報モラル教育とは	一般社団法人日本教育情報化振興会主催 関西教育ICT展 パネリスト	2022.8.5

社会的活動

L1	日本学生科学賞審査員				2002～継続中
L2	千葉市少年少女科学クラブ指導員				2006～継続中
L3	全国中学高校Webページコンテスト審査員				2011～継続中
L4	千葉市教育研究会技術・家庭科部会副理事				2020～継続中
L5	八潮市教育委員会 情報モラル研修会講師				2022.5.16.
L6	船橋市教研情報・視聴覚部会 情報モラル研修会講師				2022.6.8
L7	岩手町教育委員会 情報モラル研修会講師				2022.7.8
L8	伊予市教育委員会 情報モラル研修会講師				2022.7.25
L9	千葉市教育センター 情報モラル研修会講師				2022.7.26
L10	成田市教育委員会 情報モラル研修会講師				2022.7.29
L11	千葉県子どもと親のサポートセンター ネットトラブルの対応に関する研修会講師				2022.8.4
L12	千葉市立古和釜中学校 デジタル・シティズンシップに関する研修会講師				2022.8.25
L13	千葉県総合教育センター 情報モラル研修会講師				2022.9.13
L14	千葉県子どもと親のサポートセンター ネットトラブルの対応に関する研修会講師				2022.10.18

森 美香 (学級経営、教職員研修)

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
C1	森美香 土屋明子 土田雄一	共著	実務家教員による特別活動に関する授業実践の省察 —教職大学院・教育学部における授業実践を通して—	千葉大学教育実践研究第26号	2023.3
C2	土屋明子 伊藤裕志 森美香	共著	校内研修コンサルタントの活用による継続的・自律的な校内研修運営のための支援 —オーダーメイド型校内研修支援プログラムの作成と試行—	千葉大学教育実践研究第26号	2023.3

社会的活動

L1	高大連携授業（千葉県立安房高校教育基礎講座）講師				2022.5.14
L2	高大連携授業（千葉県立千葉女子高等学校教育基礎講座）講師				2022.6.11
L3	千葉県八千代市立村上北小学校校内研修（道徳）講師				2022.7.22
L4	千葉市市川市立第四中学校校内研修 講師				2022.8.24

八木澤 史子（教育工学、ICT活用、教師教育）

研究活動

分類・番号	発表者名	単著・共著の別	名 称	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	年月日
A1	堀田龍也 佐藤和紀 三井一希 八木澤史子	共著	はじめよう！これからの教員の学び Google for Education を活用した校内研修と授業研究	Google for Education	2022.12
B1	Fumiko Yagisawa, Tatsuya Horita	共著	Characteristic of the Teachers' Teaching Knowledge of One-to-One Computing in Elementary Education Classes	Information and Technology in Education and Learning, Vol.2, No.1 Trans-p005	2022.9
H1	八木澤史子 安里基子 遠藤みなみ 佐藤和紀 堀田龍也	共著	クラウドでの共同編集機能を用いた学習指導案の検討作業における教師の意識の分析	日本教育工学会研究報告集 JSET22-1 pp.1-8	2022.5
H2	八木澤史子 安里基子 遠藤みなみ 大久保紀一朗 堀田龍也	共著	児童が情報端末を活用する授業における授業設計時の教師の作業とその手順に関する実態把握	日本教育メディア学会研究会論集 第53号 pp.14-19	2022.7
H3	渡邊光浩 八木澤史子 久川慶貴 堀田龍也	共著	1人1台情報端末やクラウドを日常的に活用している学級における授業の分析の試み	日本教育情報学会 第38回年会論文集 pp.340-341	2022.8
H4	八木澤史子 安里基子 遠藤みなみ 大久保紀一朗 堀田龍也	共著	1人1台の情報端末を活用した授業に関する研究の実態把握	日本教育工学会 2022年秋季全国大会講演論文集 pp.405-406	2022.9
H5	堀田雄大 八木澤史子 佐藤和紀 堀田龍也	共著	1人1台端末の活用を校内において推進するキーパーソンの業務および推進に関する工夫の調査	全日本教育工学研究協議会 第48回全国大会 2-G-3	2022.10
H6	新田梨乃 南條優 滝沢雄太郎 堀田雄大 佐藤和紀 八木澤史子	共著	生活科の写真を用いた指導における気付きに関する記述への影響の検討-自分の成長をふり返る単元において-	全日本教育工学研究協議会 第48回全国大会 2-C-1	2022.10
H7	滝沢雄太郎 八木澤史子 佐藤和紀	共著	ティーム・ティーチングを活用した ICT 研修プログラムの検討	全日本教育工学研究協議会 第48回全国大会 2-G-4	2022.10
H8	八木澤史子 大久保紀一朗 中川哲 堀田龍也	共著	小学校第6学年算数科の教科書における記述内容の形式と役割の分類に関する調査	日本教育メディア学会 第29回年次大会 pp.114-115	2022.11
H9	滝沢雄太郎 八木澤史子 佐藤和紀	共著	1人1台の情報端末を用いたティーム・ティーチングにおける教員同士の連携の検討	日本教育工学会研究報告集 JSET22-4 pp.220-223	2022.11

社会的活動

L1	広島市立宇品小学校公開研究会（授業改善）（講師）	2022.12
L2	日本教育工学会研究会委員	2022.7～継続中
L3	教科書研究センター 特別研究員	2022.12～継続中
L4	教科書研究センター 授業における教科書の使い方に関する調査研究 教員養成・研修ワーキンググループ委員	2022.12～継続中